

第33回 東京成徳短期大学 保育研修会

今、保育に求められるものを考えよう —変わりゆく時代の中で—

新しい時代を迎えた今、私たちを取り巻く社会は大きく変わろうとしています。これからの時代に生きる子どもたちの為に私たち保育者は、何を願い、何を大切にしていけばよいのでしょうか。今回の研修では、文部科学省初等中等教育局 幼児教育課 幼児教育調査官 河合 優子 先生から、今後の保育・幼児教育のあり方についてご講演いただきます。また3つの分科会では、「幼児の主体性の育みのために」、「発達障害のミカタ」、「子どもの発達と造形～身近な素材・材料選びから考える」などの保育の専門研修を実施いたします。

多くの方々のご参加をお待ちしております。

【日時】 2019年11月16日(土) 13:00~17:00

【会場】 東京成徳短期大学十条台キャンパス

東京都北区十条台1-7-13

〔 JR埼京線「十条」駅下車 南口より徒歩5分
JR京浜東北線「東十条」駅下車 南口より徒歩10分 〕

【参加費】 無料

講演会 13:15~14:45

講演テーマ『 これからの実践を考える 』

講師 河合 優子 先生 (文部科学省初等中等教育局 幼児教育課 幼児教育調査官)

子供たちが未来社会を切り拓くための資質・能力を、学校段階等間の接続を図りながら育て続けていく。この理念は先生方の日々の実践によって、子供たちに届いていきます。幼稚園教育要領等の実施2年目にあたり、これからの実践で大切にしたいことを、幼稚園教育要領をもとに改めて考えたいと思います。

分科会 15:00~17:00

◆ 第1分科会：『 幼児の主体性の育みのために 』

講師 西ヶ谷 郁子 先生 (前東京都品川区立浜川幼稚園 園長)

幼児の主体性の育みのためには、教材との出会わせ方がとても大切だと思っています。子どもの発達や心にあった教材について考えながら、幼稚園・保育園・こども園等での「遊び」の意義や意味についても考える時間にしていきます。

◆ 第2分科会：『 発達障害のミカタ 』

講師 菊池 春樹 (東京成徳大学応用心理学部 准教授)

発達障害の見方、発達障害のある子どもの見方、そして発達障害のある子どもにどう寄り添い味方になるか? 集団の中で、どうその個性を生かしたら良いのでしょうか?一緒に考えていきましょう。

◆ 第3分科会：『 子どもの発達と造形～身近な素材・材料選びから考える 』

講師 杉本 亜鈴 (東京成徳短期大学幼児教育科 准教授)

栗山 由加 (東京家政大学助教・東京成徳短期大学非常勤講師)

子どもの発達に応じた造形活動を考える際、材料・技法選びは重要な要素となります。例えば、絵の具ひとつでもたくさんの種類があり、どれをどのように使えば効果的な表現に繋がるのか悩みます。また、新しい課題を取り入れたり、これまでの活動を見直したりするときには、何を残して何を捨てるべきか、判断に迷うこともあります。今回の研修では簡単な実技を通して、子どもの発達と造形材料の関係性について考察していきます。

※ 参加申込は9月2日(月)から承ります。詳細は拙って本学ホームページに掲載いたします。

東京成徳短期大学 保育研修会担当

URL: <http://www.tsu.ac.jp/>

〒114-0033 東京都北区十条台1-7-13